

〔様式 1〕

事務事業評価表

記入年月日	平成16年4月19日			
平成16年度	事業コード	31530	電話	042(769)8239
担当部課名	経済部	農政	課	農地整備チーム 班
事務事業名	新戸地区基盤整備事業			
予算上の事務事業名	新戸地区農道及び水路改修工事			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	立地特性を生かした農業の振興をめざします。	事業開始年度
基本施策名	第5節	都市農業の振興	15年度
施策名	第3施策	農地の保全と農業基盤の整備	

2 実施根拠及び関連法令等

土地改良法

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

投資的経費

5 事務事業の分類

国庫補助事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか 農振農用地区域名において、農業の生産性の向上、効率的・安定的な農業経営の確立を促進するため、農道整備及び農業用水路の改修を実施する。 事業実施年度(平成15年度～平成18年度)	(2)対象(誰、何) 新戸地区農地受益者
	対象数 189 単位 人
(3)平成15年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容 工事延長 L=416.0m 幅員 W=0.3～0.4m 水路工 416.0m	
(4)個別計画の概要	概要
計画名 新戸地区基盤整備事業	事業費 189,900,000円 受益面積 26.9ha 財源 国50% 県17.5% 市32.5% 水路改修延長 約4,300m 農道整備延長 約550m
計画年次 15年度～18年度	

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

16,17年度は目標値

成果指標	指標名	指標式・指標の単位	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				13	14	15	16	17
	整備率	整備済み事業費/全体事業費×100(%)	全体事業量に対する各年度までの実施状況を把握することでの整備率を表す			5	24	63
活動指標								

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費	項目	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
		決算	決算	決算(見込み)	予算	予算(見込み)
	決算(予算)額			10,300	35,000	75,000
	人員・時間数			160.0	160.0	320.0
	人件費			635	635	1,270
	その他経費			0	0	0
	合計	0	0	10,935	35,635	76,270
	特定財源			6,750	23,625	50,625
	対象数(人)			189	189	189
	単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	57,857.1	188,545.0	403,545.0

10 個別評価(担当課による一次評価)

(1)達成度 評価 A ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C:達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	
(2)必要性 評価 A ▼	A:適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B:一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C:適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 当該地区は昭和30年頃に土地改良を行った地区であるが、施設の老朽が激しく、地元農家の要望も有り、早急に整備する必要がある。また、国庫補助を導入することにより短期間で即効性のある事業展開が可能となる。
(3)有効性 評価 A ▼	A:有効である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B:一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C:有効ではない		
		説明	本事業を行なうことにより、通水の確保及び農道の利便性等が図られ、維持管理費の減少につながる。また国庫補助金を導入しており、安定した歳入の確保が可能であるため、経済的にも優れている。
(4)効率性 評価 A ▼	A:優れている	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B:一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C:改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない
(5)公平性 評価 A ▼	A:公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B:一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C:公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	
(6)成果の向上及び費用対効果を高めるための方策		(7)今後の課題となっていること	
工事コストの縮減に努めるとともに、施設の長寿命化及び維持管理費の低減を図りトータルコストの縮減を目指す。		機能及び利便性を損なわずに環境に配慮した整備を行なうこと。	

11 総合評価(担当課による一次評価)

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 基盤整備促進事業は農業の生産性向上や農業経営の安定を目的としていることから、都市農業を図る上で必要であり根幹をなすものである。
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止	
<input type="checkbox"/>	完了(廃止)済	

12 二次評価コメント(行政評価会議による二次評価)

--